

山本謙司と

日芸舞踊団「若竹」

民謡舞踊詩「津軽じよっぱり」〜冬は必ず春となる〜

“じよっぱり”とは、逆境をはね返す強い生命力のこと。

津軽という厳しい環境の中
姑さんにいびられながらも
強く生き抜く嫁の姿を通し
津軽魂の躍動の輝きを
舞台いっぱいに
展開します。

予定曲目

ソーラン節
牛深ハイヤ節
江差追分
津軽小原節
せり込み蝶六 他

津軽三味線：澤田勝成
尺八：佃 康史
鳴り物：美波駒和美

おもだか秋子

舞踊：日芸舞踊団「若竹」

公演日程(2023年)

9月11日(月) 6:30p.m. カナモトホール(札幌市民ホール)

入場料金：S席¥5,500 A席¥5,000(会員料金：S席¥4,500 A席¥4,000)[全席指定](税込)

●当日、学生専用席(大学生以下¥2,000)を販売致します。学生証をお持ちください。
他ランクの方とは同席できません。数に限りがありますので、予め、ご了承ください。

9月15日(金) 6:30p.m. 旭川市民文化会館 大ホール

入場料金：¥5,500(会員料金：¥4,500)[全席指定](税込)

お問い合わせ：

MIN-ON札幌 ☎011(642)5601

チケットのお求めは：

チケットぴあ(セブン-イレブン) [Pコード:518-563]

札幌：道新プレイガイド ☎0570(00)3871

旭川：玉光堂イオンモール旭川駅前店

6/15(木)発売開始!

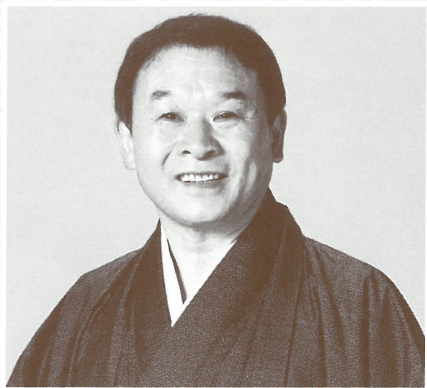
主催：MIN-ON 後援：FMりぺーる(旭川公演) 制作：日本芸能協会

※未就学児童のご入場はご遠慮ください。

min-on

山本謙司と日芸舞踊団「若竹」

津軽民謡歌唱力No.1との呼び声高い山本謙司が歌い上げる！ 歌謡曲の評判も高く、津軽訛りの楽しいトークも炸裂！ 女性歌手と演奏陣の名手たちが舞台を引き立て、日本を代表する舞踊団「若竹」が繊細かつ躍動感あふれる踊りでステージを盛り上げます！



やまもと けんじ
山本謙司

青森県生まれ。1968年、日本民謡協会全国大会個人の部において『ホーハイ節』で優勝。夏坂菊男、成田雲竹に師事。69年、東芝レコードより『謙良節・ホーハイ節』でデビュー。75年、中村隆志に師事。フジテレビ『スターどっきり生放送』のリポーターやNHK『民謡生放送』の司会等で活躍。2000年、日本民謡協会より技能賞を受賞。07年、松尾芸能賞優秀賞を受賞。08年、日本大衆音楽文化賞優秀賞を受賞。全日本民謡連盟会長に就任。徳間ジャパンコミュニケーションズ所属。近年は、歌謡歌手としての評判も高い。22年5月25日に発売された新曲『津軽のワルツ』も好評を博している。



あきこ
おもだか秋子

埼玉県生まれ。2歳で初舞台、幼少期には各地の青少年大会で優勝。2002年、日本郷土民謡協会春季大会チャンピオンの部総合優勝を機に、ビクターレコードからアルバム『若い民謡』でデビュー。12歳でNHK初出演以降、ラジオ・TVにも多数出演。2011年、国際交流基金ロシア公演を皮切りに、世界各国への海外公演にも参加。北海道から沖縄まで全国各地の民謡を歌いこなし、津軽三味線、細三味線、沖縄三線、太鼓等、多岐にわたり才能を発揮するマルチプレーヤーである。



にちげいぶようだん わかたけ
日芸舞踊団「若竹」

1970年4月、日本の郷土芸能を舞台芸術として幅広く内外に宣揚し「平和と文化」の推進の一助になる事を目的に結成。これまで3000回を超える公演を行い、NHK・民放各社のテレビにも数多く出演。86年には、『牛深ハイヤ節』で第3回日本民謡民舞大賞グランプリ「内閣総理大臣賞」を受賞。海外公演では、フランスを始めヨーロッパ各国、アジアでは、香港・台湾・中国において公演や文化交流を行い、好評を博す。

現在、民謡舞踊は勿論のこと、多数の創作舞踊・オリジナル作品を完成させ、より広い年代層の方々に日本の伝統文化に共感と誇りを共有したいと研鑽を重ねている。今後も「日本の心を地域へ世界へ」との思いで発信を続ける。



さわだ かつなり
津軽三味線：澤田勝成



つくだ こうじ
尺八：佃 康史



みなみ こまかずみ
鳴り物：美波駒和美